



猫用 セレクトプロテイン(ダック&ライス)は、食物アレルギーによる皮膚疾患および消化器疾患の猫に給与することを目的として、特別に調製された食事療法食です。この食事は、食物アレルギーの原因となりにくく、また消化性の高いタンパク源(ダック)および炭水化物源(ライス)を使用しています。

この食事療法食の対象



● 除去食試験

食物アレルギーの確定診断には過去に食べたことのないタンパク質や炭水化物の種類を制限した除去食試験と、アレルギーと疑われる食物を与える負荷試験を行います。本製品は、消化性が高くアレルギー性の低いダックをタンパク源として、米を主な炭水化物源として使用しているため、除去食として使用できます。



● 食物アレルギーによる皮膚・消化器疾患

食物アレルギーによる皮膚・消化器疾患を考慮して、タンパク源を消化性が高くアレルギー性の低いダックとライスに限定しています。



● 食物不耐症

特定の食物を摂取したときに症状がみられる病気のうち、抗体などの免疫が関与しないものを食物不耐症といいます。本製品は、食物不耐症の原因のひとつとなる乳糖を使用しません。



● 炎症性腸疾患 (IBD)

小腸、大腸の粘膜固有層に炎症性細胞が浸潤し、それともなると臨床徴候を示す一群の疾患を炎症性腸疾患 (IBD) といいます。この疾患には複数の原因が重なっていることが多く、食事性の因子としては、動物性タンパク、乳タンパク、グルテン(小麦)などがあげられています。本製品はこれらの食事性因子を含まないため、炎症性腸疾患の猫に適しています。

● 慢性の下痢

慢性の下痢には、消化管に対する負担や刺激が少ない食事が推奨されます。本製品はダックをはじめとする消化性の高い原材料を使用しています。

● 成猫の健康維持

※ヨーロッパにおける食事療法の規則*1に基づき、給与開始から3~8週後に、継続して使用する場合も定期的な診察を奨励しています。

*1: DIRECTIVE ESTABLISHING A LIST OF INTENDED USES OF ANIMAL FEEDINGSTUFFS FOR PARTICULAR NUTRITIONAL PURPOSES 94/39/EC

成分	単位/400kcal
タンパク質	30.7g
脂肪	12.5g
食物繊維	11.5g
灰分	10.0g
水分	6.3g
炭水化物	47.4g
カルシウム	1.9g
カリウム	0.91g
リン	1.33g
マグネシウム	0.07g ↓
鉄	20.68mg
銅	1.70mg
亜鉛	26.48mg ↑
ナトリウム	0.91g
EPA+DHA	398mg ↑
L-カルニチン	—
タウリン	0.27g ↑
アルギニン	1.97g
ビタミンE	68.2mg ↑
ビタミンC	22.73mg ↑
ビタミンB群	91.21mg

↓やや制限 ↓↓制限 ↑やや強化 ↑↑強化

代謝エネルギー ... 352kcal/100g



規格: 500g・2kg・4kg

1日の給与量の目安		1カップ=200cc									
成猫の体重 (kg)	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5	7	7.5	8
標準	50g 0.6カップ	55g 0.7カップ	60g 0.8カップ	65g 0.8カップ	70g 0.9カップ	75g 0.9カップ	80g 1.0カップ	85g 1.1カップ	90g 1.1カップ	90g 1.1カップ	95g 1.2カップ
調整範囲	最大	60g 0.8カップ	65g 0.8カップ	70g 0.9カップ	75g 0.9カップ	85g 1.1カップ	90g 1.1カップ	95g 1.2カップ	100g 1.3カップ	105g 1.3カップ	115g 1.5カップ
	最小	40g 0.5カップ	45g 0.6カップ	45g 0.6カップ	50g 0.6カップ	55g 0.7カップ	60g 0.8カップ	65g 0.8カップ	65g 0.8カップ	70g 0.9カップ	75g 0.9カップ

ここに表示されている給与量はあくまでも目安です。個体差や活動量に応じて最大値と最小値の範囲内にて調整を行ってください。



原寸大



使用が推奨されない病態等

なし

原材料

米、ダック、植物性繊維、加水分解家禽*2タンパク、動物性油脂、魚油、大豆油、マリーゴールドエキス(ルテイン源)、アミノ酸類(DL-メチオニン、L-リジン、タウリン)、ミネラル類(Cl、K、Ca、Na、P、Zn、Mn、Fe、Cu、I、Se)、ビタミン類(A、コリン、D3、イノシトール、E、ナイアシン、C、パントテン酸カルシウム、B6、B2、B1、葉酸、ピオチン、B12)、酸化防止剤(BHA、没食子酸プロピル) *2 鶏・七面鳥

※調達の都合により、原材料を変更する場合がございます。

追加情報

- 本バラエティーにはウェットタイプ(トレイ)もあります。
- 食物アレルギーや食物不耐症が疑われる場合には、できるだけすみやかに食事を変更することが推奨されます。
- 低アレルギー食による食事管理は多くの場合、生涯にわたって継続する必要があります。
- 食物アレルギーが関連した、皮膚疾患・消化器疾患のための食事療法食には、「猫用 低分子プロテイン(ドライタイプ)」、「猫用 セレクトプロテイン(チキン&ライス)(ウェットタイプ)」もあります。
- アトピー性皮膚疾患、その他のアレルギー性皮膚疾患に適応する食事療法食には、「猫用 低分子プロテイン(ドライタイプ)」もあります。
- 成猫および成長期の子猫の栄養要求を満たしています。
- 本製品の各適応に対して選択いただける他のバラエティーについては、「疾病からみる適応表(P.7.P.8)」をご覧ください。